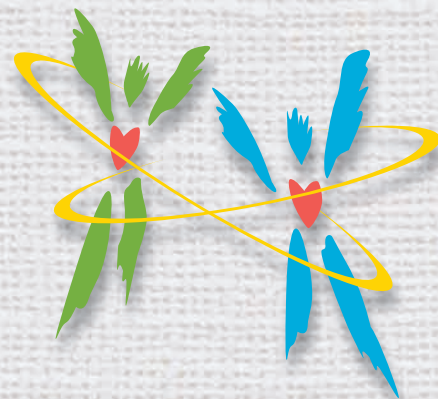


米国のベストフレンドアプローチから学ぶ

アメリカで開発されたベストフレンドアプローチは、家族や友人や同僚の視点で、認知症への理解を深めるために役立つ方法です。「認知症サポーター」や認知症にかかわる市民の皆さま、およびボランティアと共に活動する専門職を対象として、ベストフレンドアプローチを学ぶワークショップを、下記のように開催いたします。



期 日

10月4日(日) 午後1時～4時半

場 所

早稲田大学 小野記念講堂

西早稲田キャンパス27号館（小野梓記念館）1階
東京メトロ早稲田駅3Aまたは3B出口から徒歩5分

内 容

1

講演 アルツハイマー病のための「最高の友人」とは何か？

～ベストフレンズアプローチの概要とミシガン大学認知症デイサービスでの実践～

ミシガン大学老年医学センター シルバークラブ ディレクター

ベス・スペンサー氏（通訳付き）

2

講演 質の高い生活を支援するアート・アプローチ

～大学生サポーターによる取り組み～

京都市立芸術大学美術学部構想設計専攻 准教授

高橋 悟氏（元ミシガン大学准教授）

3

講演 日本に「認知症ベストサポーター」を！

東京大学総括プロジェクト機構 ジェロントロジー寄付研究部門客員研究員

ルース・キャンベル氏（通訳付き）

4

質疑応答・ディスカッションと今後のご案内

参加費

一般 3000円 / ミシガンネット 会員・学生 2000円

申込先

早稲田大学人間科学学術院 加瀬裕子研究室 e-mail:michigan@list.waseda.jp

お申込みはEメールにて、お名前・住所・電話番号・所属先・Eメールをご記入の上、上記にご送付ください。



※詳しくはこちらのHPをご参照ください
⇒ <http://www.michigan-net.jp>

Access Map

早稲田大学 小野記念講堂

早稲田大学 西早稲田 キャンパス 27号館
(小野梓記念館)1階

東京メトロ 東西線 早稲田駅
3A・3B 出口 から 徒歩5分

ミシガン大学 老年医学センター「シルバークラブ」のご紹介

社会性を重視する本クラブのプログラムは、初期段階の認知症高齢者を対象にしております。

プログラムには、運動、音楽、園芸、社会的交流が含まれ、記憶を刺激し、自立生活の維持と促進を目的とします。

アセスメントは本人とその家族の意見を基に老人クラブに勤めているソーシャルワーカーによって行われます。

参加者には暖かい昼食と栄養価の高いスナックが提供されます。移送は(必要であれば)少額のコストで提供されます。

※サービスには介護者への教育的支援も含まれております。



予告! 「チームアプローチ カンファレンス東京」のご案内

今回のワークショップを初回としながら、日本でベストフレンドアプローチを行うためのマニュアルを作成する予定です。日米の参加者と共に、ディスカッションを深めながら作り上げていくことをめざしています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

- ① 日 程
9月 4日(金) 18時30分～ 『ベストフレンドアプローチ』 抄読 1章～7章
12月 9日(土) 15時～ 『ベストフレンドアプローチ』 抄読 8章～14章
Bell, V. & Troxel, D., The Best Friend Approach to Alzheimer's Care, Health Professions Press 2003
- ② 会 場 聖路加看護大学 6階 601 講義室
- ③ 対 象 ミシガンネット会員 及び 会員の紹介者
- ④ 参加者 無料 (ただし、非会員は 1,000円)